所　属 (学部･学科)	理学部・応用物理学科	（ふりがな）	てらだ　みつぐ
		氏　　名	**寺田　貢**

研究分野

応用物理学、物理教育

研究概要

　ネットワーク技術を利用して､教育を配信するe-ラーニングについて研究するとともに､ネットワークを介した広域的な計測システムについて検討している。

キーワード

ｅ-ラーニング、取扱説明書、コンテンツ、ユビキタスネットワーク、計測システム

現在の研究テーマ　１　ユビキタスネットワーク計測システムの研究

【研究内容】

　RFID(Radio Frequency Identification：無線認識)タグの分散処理の特徴を利用し、適切なセンサと併用することにより､各種の計測が可能となる。これにより､騒音・振動などの人間の生活環境に影響を及ぼす要因を連続的で影響の生じる分布も含めて観測するシステムを実現できる。

本研究では､無線センサ端末とデータの中継方式について検討し､システム化の条件について､実用化を視野に入れて、基礎的な段階について調査を行っている。

現在の研究テーマ　２　ｅ-ラーニングの取扱説明書への応用

【研究内容】

　取扱説明書はあらゆる製品に必ず付属するもので､それ自体が製品の一部であるといえる。これまでの取扱説明書は紙に印刷された書類と説明図・写真で構成されている。

将来､デジタルディバイドなどの問題がなくなり､生活自体が「ｅ」化されていくと､このような取扱説明書もデジタルコンテンツ化されて、製品に付属させる形態が定着するものと考えられる。

本提案は､このような取扱説明書のデジタル化に､現状では企業内研修やパソコンの操作法などで利用されているｅ-ラーニングの手法を取り入れることを主眼とする。

冒頭にも述べたように､取扱説明書はありとあらゆる製品に付属するものであるため､その市場規模も膨大なものになると考えられる。